



SSH 千葉県立柏高等学校

～2020年は創立50周年～

# ケンカシだより 第5号



令和2年1月7日発行

## 新年賀詞交歓会

令和2年1月5日（日）に、利根ふるさと会館で行われた「新年賀詞交歓会」に出席し、利根町会の多くの方々と話をさせていただきました。納涼大会や合同防災訓練の話題を含めた、ケンカシと地域との交流についての話、ケンカシ生徒の自転車での通学状況の話、部活動の話、進学状況、以前のケンカシの話など、実にさまざまな話を聞き、また、こちらからも説明させていただきました。本当に、とても有意義な時間を過ごすことができました。昨年も感じたことですが、町会の皆さんは、本当にケンカシを温かい目で見ていることを本当にありがたいと感じています。改めて、ケンカシは地域とともにある学校であることを実感しました。

坂口会長さんがあいさつの中で話した、「楽しい時間は、知らぬ間に過ぎ去ってしまう。時間を忘れるということは、きっと、その間は、歳をとらないということなので、大いに語り合ってください。」の言葉のとおり、あっという間に2時間が過ぎ去った感があります。

今後、皆様に記入していただいた「学校評価アンケート（地域対象）」をとりまとめていきますが、書かれている内容をよく読み、それに応えることにより、さらに地域に愛される学校づくりを進めていきたいと思えます。



## 柏葉探究セミナー

11月22日（金）に、「柏葉探究セミナー」を行いました。目的は、「社会で活躍しているケンカシ卒業生と在校生との交流を通して、生徒の職業観の育成や自己実現の支援を図る」ことです。今年度で11回目となります。実に様々な職業に就いているOB・OGが、ケンカシ生徒のために、「現在の職業について」、「生活信条や価値観について」、「今の職業に就くきっかけ」、「高校時代の生活について」、「いまのケンカシ生徒に望むこと、期待すること」等の内容で話をしてくれます。

1、2年生は、自分の興味のある2つを選択して、話を聞きます。私は、写真を撮りながら、すべての会場をまわりましたが、講師が、後輩であるケンカシ在校生を思いながら、自身の生き様を語ってくれています。その熱意が伝わったためでしょう。生徒の話聞く態度はすばらしかった、真剣そのものでした。

初めて講師を務めた方から、「本当に緊張した。」、「うなずいてくれる生徒がいて、うれしかった。」、「メモをとってくれる生徒がいて、感動した。」との感想をもらいました。また、「5時間目の反応を見て、6時間目の説明の仕方を変えた。」と話してくれた方もいました。継続して講師を務めている方は皆、生徒が書いた感想を熟読しています。「感想を読んで元気がもらえる。」、「ぎっしり書かれた感想を読んでいたら、涙がとまらなくなった。」と話してくれた方もいます。生徒の聴く態度・取り組み方と感想をもとに、次年度、導入をどうするか、どのように話すか、どの順番で話すか、何を伝えるのか等、本当に真剣に考えてくれています。

ケンカシは、素晴らしい学校だと思います。「柏葉探究セミナー」も、よさの一つですね。在校生と卒業生のつながり。このよき伝統が、ずっとずっと続いてほしいと、感じているところです。話を聞いていた生徒たちも、何年か後には、そのときのケンカシ生徒のために、「柏葉探究セミナー」で来校し、自分を語ってほしいと願います。

(今年度の発表テーマ一覧)

- 1 土地家屋調査士って何をする人
- 2 航空機・ロケット等の製造現場からのメッセージ
- 3 地元で会社創立・副業で歴史研究者～将来の見えない高校時代にすることは何か
- 4 「国語」じゃなくて、私「日本語」教えてます！
- 5 人生を楽しく生きるコツ-ロボットと人工知能は人の仕事を奪うのか？
- 6 幼稚園と保育園のいいとこ取り・認定こども園のお仕事
- 7 信じるな！疑え！そこに真実と向き合う自由な君がいる
- 8 “興味”から”Work”につなげる ～micro:bit を触って”興味”の体験をしよう！～
- 9 「百姓＝マルチな人」を目指して
- 10 輸入で起業！ナースとダブルワーク中！ ～マルタ大統領と首相に謁見しちゃった珍道中～
- 11 ゲームグラフィック制作の仕事 ～好きを仕事にする方法～
- 12 地球は丸いのに、なぜ本は四角いのか？
- 13 魔法の言葉「ありがトン」で人生ももっとうまくいく！
- 14 宇宙の謎に迫る ～最新の宇宙観測と私の仕事～
- 15 薬に関するお話し ～なぜ偽善者は創薬化学者を選んだのか？
- 16 人工知能 (AI) と共存する社会
- 17 自分を変える力 ～グローバルビジネスでのサバイバル術
- 18 オーケストラのマネジメントという仕事
- 19 職場は地球～船で地球 35 周分航海した後、データ分析やっています
- 20 プログラマーという職業を紹介します
- 21 スポーツを仕事にする ～スポーツトレーナーという職業



## 私たち、がんばっています

### 【柏市内高校生ビブリオバトル】

11月3日（日）に行われた「柏市内高校生ビブリオバトル」で、1年1組の後藤光陽くんが奨励賞を受賞しました。「ビブリオバトル」とは、おすすめ本を紹介し合い、一番読みたいと思った本を投票により決定するものです。私は、会場（ウエルネス柏）で、その様子を見ていましたが、彼の発表はとてもよかったですと感じています。

彼は、「読書がとても好きだ」と言っていました。中学時代は、1日に2冊読んだこともあったようですが、いまでは1週間で1冊程度とのことです。「作者によって、表現の仕方が異なる。自分だったら、どのように表現するかを考えながら読んでいます。また、自分がその本の中の登場人物だったら、どのような行動をとるのかを考えることは楽しい。」という、彼の言葉が印象的でした。機会があれば、来年もビブリオバトルにチャレンジしたいと話してくれました。



### 【生徒地理研究発表会】

11月22日（金）に行われた「第54回生徒地理研究発表大会」に、2年5組の渡邊篤紀くんと2年2組の神原命くんが参加し、研究発表をしました。それぞれ、写真部と天文部に所属している生徒です。

「大会になぜ参加したいと思ったのか」と問うと、「もともと地理に興味があって、夏休み中にいろいろと考え、9月中旬に参加の意志を確定した」とのことです。発表テーマは、「松戸市総合医療センターにおけるアクセス問題について」です。自ら、足を使って遠い道のりを歩いて調べたり、医療センターに出向き、インタビューを行ったりして話を聞いたとのこと。今年度実施した修学旅行のタクシー研修は、フィールドワークを伴う、探究活動を取り入れたものですが、ちょうど同じようなことを行ってくれていたようです。「スライド資料の作り方、話の伝え方について、真剣に考えた。」と話してくれました。言葉選び、話の内容の順序、スピードなど、どのようにしたら伝わりやすいのかを考え、発表に臨んだようで、引率職員によると、「すばらしい発表だった。」と自信を持って、私に教えてくれました。「他のグループの発表を聴いて学んだことは？」と尋ねると、「ふだん当たり前のようになっていることでも、疑問を持つと、ものごとが違って見えてくるのが確認できた。」「行動力の大切さを学んだ。実際に行政を巻き込んで活動しているグループがあり、やろうと思えばなんでもできるのだと思った。」と語ってくれました。



ケンカシで重視する学びの一つである「探究し、伝える力」がさまざまな場面で、経験することにより、身に付き、身に付いた力は、大学で、社会で、必ず生かされるものと考えます。

### 【千葉県高等学校新人体育大会水泳競技大会】

「千葉県高等学校新人体育大会水泳競技大会」の競泳競技の部男子100m平泳ぎで、2年8組の丹生拳志郎くん第7位に入賞しました。中学時代も好成績を収めていたようで、「泳ぎ方について、いろいろと研究している。」と話してくれました。また、部活動の中で感じる「負けたくない」という気持ちは、定期考査をはじめ、高校生活のいろいろな場面で生かされているとも話してくれました。しっかりとした将来の夢も描けているようです。

部活動の大会を含めて、今後の活躍に期待したいと思います。



### 【青少年読書感想文千葉県コンクール】

「第65回青少年読書感想文千葉県コンクール高等学校の部」において、1年3組の堀川奈津紀さん、1年4組の蛭田有紀さん、2年6組の大西瑞季さんの3名が佳作に選ばれました。応募作品は、それぞれ、『生きた証』、『「正義」という名の暴力』、『夢を叶える原動力』です。3人と校長室で話したときに、とにかく読書が好きだということが、会話のいろいろなところから伝わってきました。受賞した感想を聞くと、3人とも、「まさか、自分がとれるとは思っていなかった。」と答えてくれました。今回、応募する際に、国語の担当職員や図書館司書にアドバイスをもらったとのこと。「中学時代はなんとなく書いていたけれど、感想文の書き方についてしっかりと学ぶことができた。」と口をそろえて話してくれました。3人が話してくれたことで共通していた内容は、「読書感想文を書くことは、読み終えて「ああよかった。」で終わることなく、その後膨らむものがある。」「読書感想文を書くことは、自分がイメージしたことを、感じたことを、どのようにしたら相手に伝えることができるのかを考えること。この力は、入試でも問われるし、将来にも求められる力だと思う。」です。

「機会があれば、次年度も読書感想文に応募したい。」と話してくれました。



### ケンカシホームページ

ケンカシでは、学校の様子をホームページに掲載し、日々更新することにより、情報発信に努めています。(ケンカシホームページアドレス <https://cms1.chiba-c.ed.jp/kashiwa-h/>)